

事例

食生活改善推進員による食文化継承の取組

一般財団法人 日本食生活協会

山形県食生活改善推進協議会

「郷土料理の伝承」～山形の味「芋煮」を通して～
河原で繰り広げられる芋煮会は山形の秋の風物詩です。
「芋煮」は県内でも材料や味付けが様々で、内陸は牛肉・
醤油味、^{しょうない}庄内は豚肉・味噌味と各地の食文化が垣間見え
ます。特に、直径6mの大鍋で作る^{やまがたし}山形市の「日本一の
芋煮会」は有名です。

県内の市町村協議会では、「芋煮」を代表とした郷土料理教室を実施しています。

^{もがみ}最上地区の協議会では、働き世代を対象に「芋煮の郷土料理教室」や「郷土料理を次世代へ伝承」と題してシンポジウムを実施しました。

シンポジウムでは食の知識や知恵を身につけ、先代から受け継がれてきた食文化を守ることの大切さを伝えました。

また、おやこの食育教室や生活習慣病予防教室等においても献立に郷土料理を取り入れ減塩や野菜摂取の啓発とともに、県協議会の活動目標でもある「地域の食文化を継承しよう」を実践しています。



働き世代を対象にした料理教室



シンポジウムにて郷土料理の普及啓発

茨城県食生活改善推進員協議会

「茨城食文化伝承事業」～郷土料理で地産地消を～

茨城県協議会では郷土料理や地場産の食物を若い世代や子供たちへ伝承し、未来へ受け継いでいく必要があるという目的で毎年郷土料理講習会を実施しています。

地域の自然風土や生活の知恵から生まれた郷土料理は、地場産物を使用した栄養バランスの考えられたものが多く、情緒豊かな食生活を味わうことができる等、その意義は大きいと考えています。しかし、今は、行事食や郷土料理の存在が薄くなってしまった家庭も多くなりました。

例年、学校や各講習会において実施している事業ですが、今年度は児童と保護者が集まる場所や家庭訪問、健診等を活用した啓発に切り替え、活動を滞らせることなく実施しました。コロナ禍で家で過ごす時間が増えた今こそ、家庭で郷土料理を伝承するチャンスと捉え、レシピの配布とともに郷土料理の伝承に努めました。



郷土料理レシピの配布



茨城の食文化伝承レシピ